

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	西洋建築史小委員会		主 査 名：西田雅嗣 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：吉田鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者の育成・強化策について議論・検討 ・新しい研究活動、研究領域の拡大、隣接研究分野との学際協力の可能性、および日本における西洋建築史研究のありかたについて議論・研究 ・学術的国際交流促進の方法について議論・検討 ・『西洋建築史図集』のメンテナンスの一環として、「デジタルアーカイブ」と「西洋建築史用語集」の作成の必要性と可能性について議論・検討 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 西田雅嗣(京都工芸繊維大学)、伊藤大介(北海道東海大学)、中島智章(工学院大学)、伊藤重剛(熊本大学)、横手義洋(東京大学)、海老澤 模奈人(東京工芸大学)、大橋竜太(東京家政学院大学)、加嶋章博(聖母女学院短大)、堀 賀貴(九州大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 設置目的すべてについて、次年度からの本格的活動に向けて打ち合わせを行った。2 名の幹事、その他委員(予定者を含む)からも賛同を得られ、役割分担等も概ね決め、当初予定していた本年度の活動としては、概ね達成できたと思う。
委員会活動の問題点・課題	1. 予算の関係で、小委員会が通信会議を主とせざるを得なく、実際に顔を合わせたの会議が困難であること。 2. シンポジウム、セミナー等を企画する場合、かなり早くからの計画・承認が必要であり、予算の関係で他の催し物等で来日した機を捉えて海外の研究者に講演等お願いしようとしても、委員会主催や後援とするにはスケジュールが合わないことが多い。